



《将来に向けた取組方針》

弊社グループは、資源・製錬・材料の3事業連携による基礎素材・高機能性材料の安定供給を通して、SDGsなどの社会課題の解決と持続可能な社会の実現へ貢献いたします。一方で、鉱山開発や非鉄金属製錬等は、地球環境に多大な負荷を与えるものでもあります。経営理念である「地球および社会との共存」を実現するため、弊社グループはあらゆる側面から地球環境保全と地域社会への貢献に努め、生物多様性宣言の精神に則り、「2030年のありたい姿」を策定し、パートナーシップも意識して取り組んでまいります。

〈取組み事例・成果〉

- 2005年から比国にて、それまで資源として活用されていなかった低品位ニッケル鉱石 (1) からHPAL (高圧硫酸浸出) 法によるニッケルの回収を開始しました。回収したニッケルは、国内製錬工場で精製し基礎素材として、また、電気自動車用バッテリー正極材などの高機能性材料として社会に供給しています。
- HPAL法で発生する残渣を無害化して溜める第1テーリングダムのリハビリテーション (緑化) を実施し、数年かけて広大な緑地に再生しました。(2、3)

1



2



3



〈今後の課題等〉

水資源や生物多様性を大切にしたいと海や陸の豊かさを守っている企業でありたいと考えています。今後は、有害物質の移動・排出量の低減、水使用の合理化・排出量削減、計画的な植林の継続と推進等 (例: 比国の第2テーリングダムの緑化) と共に、重大環境事故を発生させないよう管理改善に取り組んでまいります。

〈社会へ向けてのメッセージ〉

脱炭素社会の実現など社会課題の解決やデジタルテクノロジーの進化・発展などを背景とした社会ニーズへの対応を通じて、持続可能な社会形成に向けて全力で取り組んでいきます。